

診断しが



「びわ湖・比叡山と新幹線」(大石孝太郎撮影)

令和2年 冬 号

一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

目 次

会長挨拶	1
特集記事	2
理論政策研修	2
中小企業診断士の日記念セミナー	4
2019シガネット	8
診断実務実習体験談	9
委員会報告	10
研究部会報告	13
新入会員紹介	17
中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ	..	18
無料経営相談	18
事務局から会員の皆様へ	18



皆さま、令和2年の新春を迎えお慶びを申し上げます。

中小企業支援機関の皆さま、行政の皆さまには、日頃から当協会の運営にご理解ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

わが国経済が置かれている環境は、少子高齢化に伴う人口減による市場縮小が進む中、米中貿易戦争による世界経済の減速や国際紛争等の不安要因があり、先行き不透明感が強まっています。中小企業・小規模事業者は引き続き厳しい経営環境に直面しています。

多様化する中小企業・小規模事業者への課題の対応については、事業承継をはじめITの利活用や生産性の向上、働き方改革など国の施策についても、幅広い知識と能力を持つ中小企業診断士に対する期待がますます高まっています。

当協会は、現在正会員が108名になりました。この4年半で47名増加し、毎年平均10名ずつ増加し増加率は全国の協会の中でもトップクラスです。

この要因はいろいろあると思いますが、私は当協会が「五つのC」を高めることを目指して活動しているからではないかと考えております。

五つのCとは、「コア・コンピタンス（独自能力の強み）」、「コーポレートガバナンス（企業統治）」、「チャレンジ精神」、「カスタマーファースト（顧客第一主義）」、「CSR（企業の社会的責任）」です。地域の課題や社会の課題にも目を向けて解決に寄与しようとしています。

そうした結果、県信用保証協会のH30年度の対象企業アンケート調査でもたいへん高い評価をいただいています。

今年も、組織的に会員の資質や能力開発の機会を増やし、地道に人材育成を進めてまいります。そして関係機関の皆さまとの相互連携を図ってまいります。

中小企業支援機関の皆さま、行政の皆さま、ともに中小企業支援や地域創生に力強く取り組んでまいりましょう。



令和元年度理論政策更新研修

研修企画・講師担当 佐々木 武

1.研修概要

2019年8月3日(土)、コラボしが21 3階大会議室にて、中小企業診断士約130名が参加し、今年度の理論政策研修を行いました。



第1講 新しい中小企業政策について

(講師)滋賀県中小企業支援課長 田村 隆行 様

第2講:地域資源を活用した中小企業支援(講義)

地域には、自然資源(地理・気象・生態)や伝統文化、地域産品(モノ)、地域人材(ヒト)等の人為資源(歴史・社会・経済)など、その地域ならではの様々な地域資源(強み)があります。伊吹ハム様は、「地域人材」づくりをベースにした経営を基に、Only One の地域ブランド「滋賀・伊吹ハム」にこだわったマーケティング戦略を展開されています。

第2講、第3講では、「地域資源としての地域人材」を取り上げ、伊吹ハム高木社長にもご登壇いただき、講義(90分)と演習(90分)を行いました。

◆「伊吹ハムの経営戦略と人材育成」

(講師)有限会社伊吹ハム 代表取締役社長 高木卓宏 様

◆「価値づくりのマーケティングと販路開拓支援事例」

(講師)オフィス未来 代表 佐々木武



第3講:地域資源を活用した中小企業支援(演習)

◆「コンセプトメイク(顧客・顧客価値・強み・違い)」

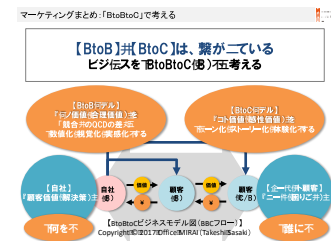
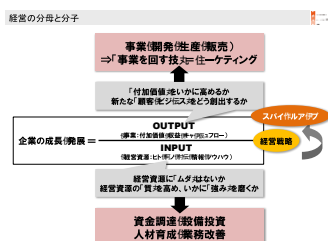
(講師)オフィス未来 代表 佐々木武

◆「伊吹ハム様のコンセプトメイク(価値を創り伝える)」

(講師)有限会社伊吹ハム 代表取締役社長 高木卓宏 様

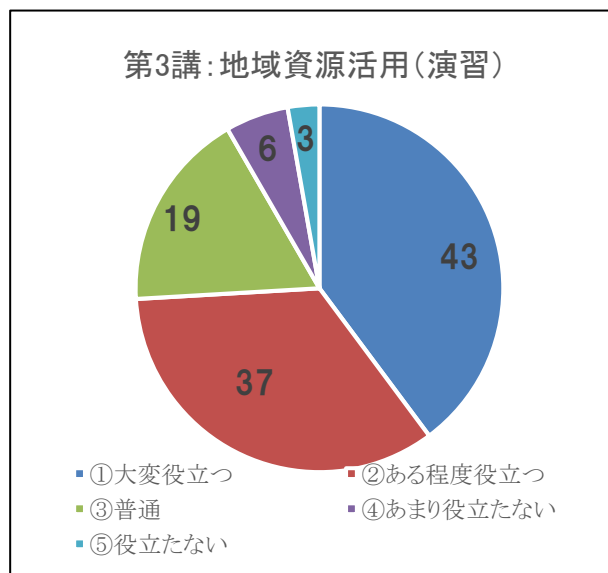
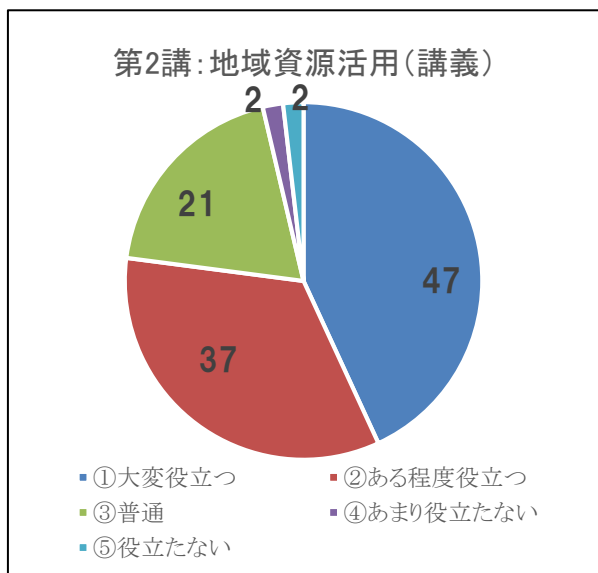
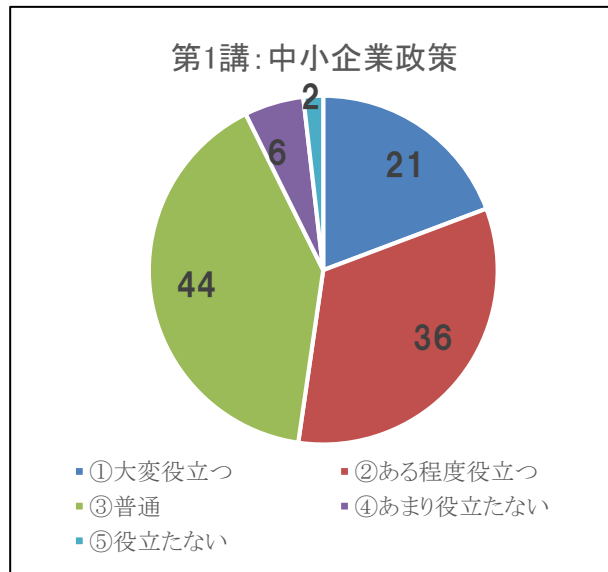
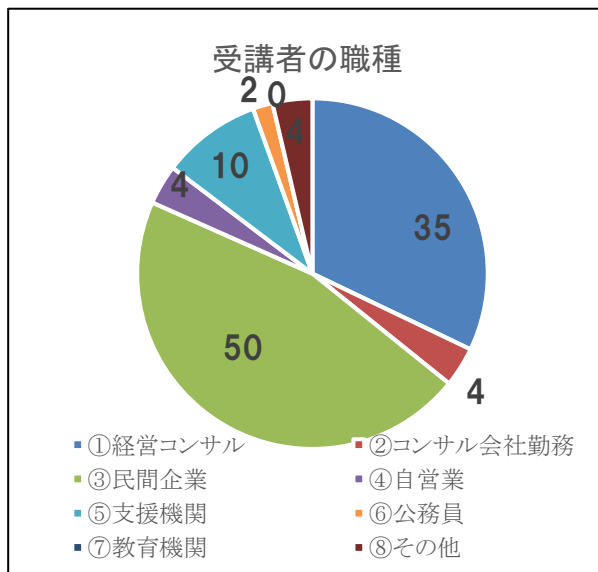
(講師)オフィス未来 代表 佐々木武

12組に分かれグループワーク形式の演習と代表4組による発表を行いました。



2.アンケート結果

アンケート調査の集計結果は、「大変役立つ」と「ある程度役立つ」の合計が、第1講：52%、第2講：71%、第3講：73%と、総じて好評でした。



3.交流会

政策理論研修終了後、新入会員への当協会研究会の説明を兼ねた交流会を行い、若手会員やベテラン会員、新入会員の和やかな交流の場となりました(於 なぎさのテラス ハッシンダイナー)。

中小企業診断士の日記念セミナー

①自治体のパートナーになる！「滋賀・地域創生力向上フォーラム」

地域経済分析研究会 佐々木 武

2019年11月7日、滋賀ビル9階会議室にて、協会員(中小企業診断士)の他、自治体(県市町)、支援機関、金融機関の方々41名が参加。県の政策の理解を深めることができ、参加者から「まとめて話を聞く機会となった」「勉強になった」など概ね良好なご評価をいただき、地域経営支援における自治体・支援機関・診断士の連携の機会となりました。田中会長による開会の挨拶の後、以下の講演を行いました。

【指針編】 滋賀県産業振興ビジョン 改定のねらい

講師:滋賀県 商工観光労働部 部長 森中 高史様

「変化への挑戦(challenge for change)」を基本方針に、従来以上に明確な2030年ビジョンを示し、滋賀ならではの持ち味を盛り込んだ施策をわかりやすくレクチャーいただきました。質問タイムを設け、さらに産業振興ビジョンの理解を深めました。

森中部長より診断士との連携を前向きに検討したいとの示唆をいただきました。

【情報編】 経営支援のお役立ち情報

講師:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業支援AD 松田 茂様

「ここからアプリ」や「J-NET21」など、経営支援者の実務に役立つ、経営サポートサイト・ツールをご紹介いただき、小規模事業者にも簡単に使える貴重な情報を得ました。

【実践編】 自治体のパートナーになる

講師:一般社団法人 埼玉県中小企業診断協会 理事 山田 静也様

仕様書の作成協力から、行政の課題を共有した企画立案、約1万社の企業リストや診断士の機動的で実効性の高い体制によるフィールド調査や経営支援実務までを行い、シンクタンク、パートナーとしての地位を獲得されています。シニアや女性活躍関連事業など多くの実績や運営ノウハウ、組織化の仕組みなどを紹介いただきました。

終了後、山田理事をゲストに、有志による懇親会を行いました。乾杯の発声を田畑副会長、中締めを高島市総合戦略課戸田課長が行い、滋賀の地域創生に関わる、診断士、市町、商工会議所、商工会の異業種交流の場となりました。

地域経済分析研究会をプラットフォームに、地域振興に関わる方々と連携し、持続可能な地域づくりを目指し、さらに実践研究・支援を推進してまいります。



②しが・知的資産経営公開セミナー 開催報告

知的資産経営研究部会リーダー 大石孝太郎

2019年11月5日(火)に、「しが・知的資産経営公開セミナー」を開催しました。協会会員、金融機関、支援機関、経営者など40数名の参加がありました。

今回のテーマは、「経営×デザイン」とし、知的資産経営の第一人者である森下勉先生と、経営デザインを専門とする立命館大学経済学部教授の佐藤典司先生をお招きしてお話をいただきました。

経営分析的な手法は、過去から現在までを分析し、環境変化などを考えて、次の経営戦略を構築していくことが多いものですが、人口動態、国際情勢、IT・AIなどの技術革新、通信技術革新、SNSなどの情報革新など、近年の経営を取り巻く環境変化や価値観やニーズの変化は予測困難であり、従来の延長線上で経営戦略を構築する手法の限界が指摘されています。

こうした中、政府は2018年に「デザイン経営」宣言を発表し、ブランドとイノベーションによる産業競争力の強化を打ち出しました。

11/5(火)開催 「中小企業診断士の日」記念
参加費無料 しが・知的資産経営公開セミナー

激動の時代、予見が困難な時代だからこそ、自社の未来を描くことが求められる。現在の延長線上に未来は描けない。SWOTを超える新たな企業戦略、ビジョンを構想するデザイン経営を今こそ実践する！

日時 11月5日(火)
開場 13:30 開演 14:00 終演 16:30

会場 滋賀ビル49階 比叡の間
滋賀県大津市梅津1丁目9-10 (JR大津駅前)

定員 50名 (先着順：FAX または WEB 申込み)

特別講演1 「経営デザインシートの背景と活用のポイント」
有限会社ツトム経営 代表 森下 勉 氏

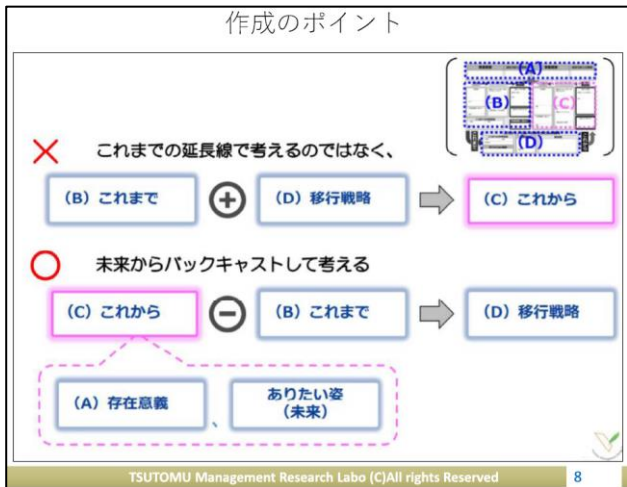
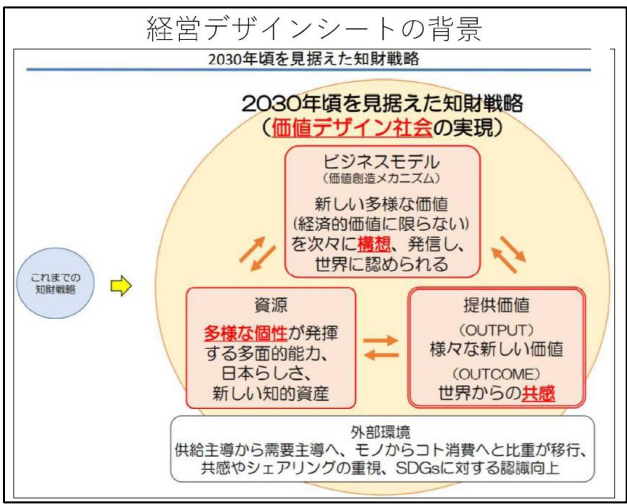
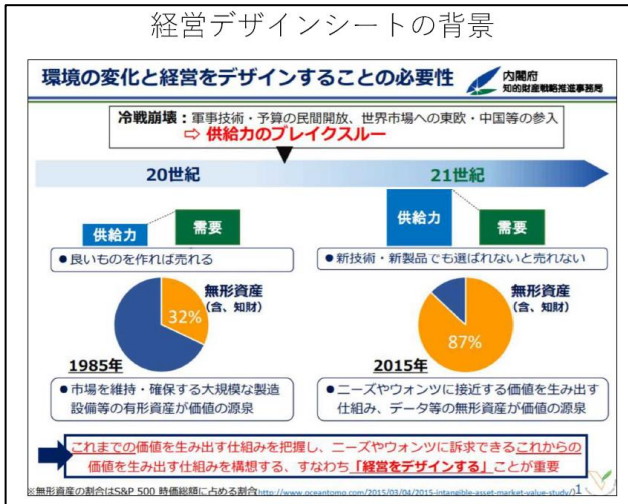
特別講演2 「デザイン思考で構想する これからの経営」
立命館大学経営学部 教授 佐藤典司 氏



【特別講演1】概要

「経営デザインシートの背景と活用のポイント」 有限会社ツトム経営 代表 森下 勉 氏

森下先生からは、内閣府知的財産戦略推進事務局が公開した「経営デザインシート」の背景、記載内容のポイント、活用事例など、基礎的な理解から、経営デザインシートを作成する上でのポイント、知的資産との関係、活用事例など豊富なお話をいただきました。



【特別講演 2】 概要

「デザイン思考で構想するこれからの経営」

立命館大学経営学部 教授 佐藤典司 氏

佐藤先生からは、「デザインとは何か」、「デザインの役割」、をわかりやすく解説された上で、経営の観点から、「デザイン経営やデザインマネジメントとは何か」、をお話いただきました。

デザインの役割が、単なる「スタイリング」から、「問題の解決」や「価値の創造」へと向かい、「ブランド構築」、「イノベーション」を創る原動力となっています。

デザインとは、問題を解決するために思考や情報を整理して、コンセプトやビジョンを導き出し、最適な形にしてわかりやすくその価値を伝えていく行為。

佐藤可士和「佐藤可士和のクリエイティブシンキング」

最後に、「BTC 発想」(B:モノやサービスを売る。T:技術、機能性、利便性。C:創造性(デザインの領域)を軸とした経営イノベーションについて新たな視点を提示いただきました。

③「人材採用と定着」

企業組織活性化研究部会 西村 剛史

令和元年 11 月 12 日(火)に、大津市旧大津公会堂にて、中小企業事業者、金融機関、支援機関、中小企業診断士など約 40 名ご参加いただき、中小企業診断士の日記念セミナー「人材採用と定着」を開催しました。セミナーの内容は 3 部構成で、詳細は以下のとおりです。

【第1部 人材の採用】 講師:西村剛史氏(滋賀県中小企業診断士協会)

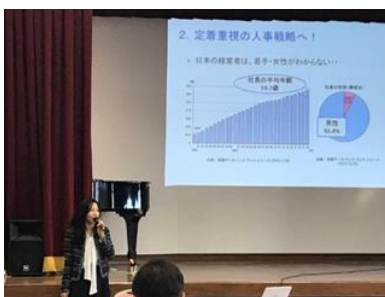
第1部は、私、西村が担当しました。求人募集をしても反応がなく、人材確保に苦戦する企業さまが増加する中、少し前まで求職者だった私の事務所の職員の生声も交えながら、求職者のニーズを説明した上で、採用を成功させる求人票の書き方のポイントについてお話ししました。特に、無料で採用活動に使えるハローワークの活用方法も詳しく説明しました。

【第2部 人材の定着】講師:槌田昌子氏(滋賀県中小企業診断士協会)

第2部は人材(特に女性・若者)の定着について、槌田昌子会員にお話しいただきました。特に、男性と女性の考え方の違いを明確にした上で、男性経営者が女性従業員に、どのように接していけばいいのか等、女性でないと話せないところをご説明いただきました。

【第3部 2019年公的助成金の紹介】講師:加瀬秀樹氏(株式会社パナソニックマーケティングスクール)

第3部は、株式会社パナソニックマーケティングスクールから助成金申請の主担当講師をお招きし、お話しいただきました。全国各地で多数の助成金セミナー開催の経験を活かし、人材の採用と定着に役立つ公的助成金制度の活用についてお話しいただきました。



アンケート結果も大変好評で「とても参考になった」、「今後、何をすべきか明確になった」、「役立つ情報をありがとうございました。」等の声をいただきました。また、今回のセミナーは特に、セミナーや助成金等で提携している(株)パナソニックマーケティングスクールに全面協力をいただき開催しました。この場を借りて感謝申し上げます。

シガネット研究会 2019

シガネット研究会は、滋賀県協会では研究会活動が今日のように活発ではなかった時期に、会員の有志のメンバーが集まり講師を招いたり、自分たちで勉強会を開いたりするなど研鑽を積んだ会を起源としています。近年では、滋賀県協会でもっとも歴史のある研究会として、年に一度開催して、会の後は忘年会を兼ねた懇親会を行うのを恒例としています。本年度は、12月7日(土)に滋賀会館にて開催しました。

研究会のメインは、新しく滋賀県協会に加わった会員の方々の発表です。会員の人やこれまでの経験、診断士としてどのような活動を目指しているかを知る機会は意外と限られ、まとまった形で話を聞くことのできる貴重な場になっています。今回は10名というこれまでで最多の新入会員のお話を聞くことができました。

- | | |
|---------------------------|----------|
| ● 今後取り組みたいこと&農業支援について | 濱中 正人 会員 |
| ● 食品等事業者と衛生管理 | 岡村 善裕 会員 |
| ● 自己飲食店の売上拡大 | 奥田 謙一 会員 |
| ● 自己紹介 | 窪津 正充 会員 |
| ● つちだ まさこの目指すトコロ | 槌田 昌子 会員 |
| ● 中小企業診断士としてのこれまでの経歴 | 松原 秀樹 会員 |
| ● 小規模企業における商品開発 | 古谷 武徳 会員 |
| ● 事業継続力強化のために役立つIT知識 | 松永 尚文 会員 |
| ● EMSとデータを活用した省エネ | 松村 利幸 会員 |
| ● 先生！ご存知ですか？商標制度と知財総合支援窓口 | 田中 和男 会員 |

研究会の後半は、昨年度より実施しているパネル・ディスカッションの形で、新入会員の発表時に示してもらった、協会への期待、先輩への質問、協会で行ってみたい活動などを元にして、会場間での活発な質疑応答や議論が行われました。主な意見として以下のような意見が出ました。今後の協会や研究会の活動の参考にしていきたいと考えています。

- 他府県と比べた際の滋賀県協会の特長は何か
- 飲食業関連の研究会を立ち上げたい
- ものづくり企業の支援ツールを開発したい
- よりアピールするためにホームページの内容・見やすさなど改善が必要

研究会の終了後は、中国料理かすがに席を移し、ディスカッションの続きや今後の取り組みなど活発な意見交換が続き、懇親を深めました。



診断実務実習体験談

・令和元年度第 1 クールを体験して

鐘井班 永田 千穂

私達の実習班では湖南省の労働者派遣業を診断させていただきました。企業内診断士の 3 名に加えて外国人技能実習生受け入れのスペシャリストである河原先生に支援班員として参加させていただきました。

社長からのヒアリングや班員の業界調査で労働者派遣業は国が非正規雇用から正社員転換を加速している、技能実習生を派遣人材として活用することを禁止しているなど非常に厳しい状況にあることが分かりました。難しい診断でしたが、指導員の先生のアドバイスをいただきながら何とか提言をまとめることができました。

最終報告では診断書のボリュームが非常に多くなってしまい、社長を圧倒してしまったかもしれません。相手に合った伝え方については勉強不足を痛感しました。

私は実務実習が今回 3 回目で初めて班長を担当させていただきました。実務実習は自分が普段接することのない業界について深く知る機会を得ることで社会人としての視野を広げることができること、企業内診断士としても役立つコンサルティング能力を向上させることができること、異なるバックグラウンドを持つ班員と一つの診断報告書をつくることでコミュニケーション能力を高めることができることに魅力があります。

今後も参加を続けますのでよろしくお願いします。



診断最終報告後の社長、指導員、班員

・診断実務実習に参加して

令和元年度 第1クール 長浜班 原 哲郎

みなさん、こんにちは。滋賀県協会主催の実務実習に参加した原と申します。今年度は第1クールの長浜班に参加しました。

診断先は洋服小売業でしたが、華やかに聞こえる反面、全国チェーンばかり目につくこのご時世、さらに製造を行っておらず他店との差別化が可能なのか等々、不安がありました。

しかしヒアリングを通して、ネット販売に注力しており好調なこと、地域に根ざしたお店として安定した固定客もあること、等がわかりました。これらを踏まえて班全体で改善提言をまとめ診断先に報告を行いました。

概ね提言はできたのですが、日程の関係で深掘ができない部分があったことが今後の反省点です。

今後も毎年1社を目標に参加していくつもりですので、ご一緒になった際はよろしく願いいたします。



オーダースーツ売場の視察状況



委員会報告

組織体制委員会

田中清行（委員長）、佐々木武、田内孝宜

令和元年度に取り組んできたこと

- (1) 切磋琢磨しチーム力で戦える組織づくり・・・強いサッカーチームのようにお互いに切磋琢磨しながらチーム力で戦える、より強い組織づくりに取り組んでいます。研究会や独自セミナー等により情報の共有とスキルアップを行っており、受託事業を公平に分配してチームで取り組むことによりチームワークの強化を図っています。
- (2) 風通しの良い組織づくり・・・会議やメールを活用して情報を早期に共有でき、建設的な意見を提案できる仕組みを作り、会員相互が十分にコミュニケーションを取り合える、風通しのよい組織風土づくりに努めています。
- (3) 賛助会員の検討・・・賛助会員は当協会を応援していただく協力企業であることが基本であり、今後のあり方を検討しています。
- (4) 事務所内の3S・・・会員が気軽に立ち寄れる快適な事務所環境にするために文書の整理・整頓などを定期的に行います。

会員サービス強化委員会活動報告

岩崎弘之 鐘井輝 田内孝宜 佐々木武 玉木幸夫
西村剛史 若島浩文 奥田謙一 田畑一佳

会員サービス強化委員会では、実務従事のポイントが取得しにくい中小企業診断士の方に、本年度も以下の要領で実務従事の手機を提議させていただきます。

◆日程

- ・第1クール:2019年10月14日(月祝)～2019年12月末の間の6日間
- ・第2クール:2020年1月13日(月祝)～2020年3月末の間の6日間

- ◆参加人数:第1クールは6名(2班)が参加し、診断企業先1社につき、指導教官・実務従事者4名の体制で企業診断を実施しました。第2クールは13名(3班)が参加し、診断を開始したところでは。

◆進行状況

令和2年1月15日現在で、第1クールの診断報告会は全て終了し、第2クールも開始されました。第1クールの診断先企業業様から「とてもよかった。作成いただいた報告書は、これからの経営の指針にしていきたい。」など、お褒めの言葉をいただきました。また、実習生からも「非常に内容の濃い実習であり、自分のスキルアップにつながった。」という声をいただいております。参加者全員にとって、とても有意義な実習となっております。

研修・専門分野研究委員会の取り組み

メンバー: 片山 聡、川北 日出夫、東 勉、松島 明男、三宅 裕之、山田 人志

1. 専門分野研究部会の活動状況

支援のスキル向上、ノウハウ共有を通じた会員間の連携強化や、受託事業の品質向上を目指して、以下の13の研究部会が活発に活動しています。

事業承継	知的資産経営	事業継続計画(BCP)
事業再生	ものづくり研究会	アグリビジネス
企業組織活性化	創業支援	国際マーケティング
地域経済分析	ソーシャルビジネス	経済調査
しが観光経営		

2. 「診断士の日」関連イベント

診断士の認知度向上とブランド確立に向けた「診断士の日」関連イベントとして以下のセミナーを以下の研究会代表の方々に計画・実施していただきました。

11/5	「経営をデザインする」	知的資産経営研究部会・大石
11/7	「自治体のパートナーとなる」	地域経済分析研究会・佐々木(武)

3. シガネット研究会

研究会活動がまだ活発でない頃、有志が手弁当で研鑽に励んだ会です。新入会員の人と
考えを知ることのできる貴重な機会になっています。今年度は12月7日(土)に開催しました。
内容については活動報告の記事をご参照ください。

研修・専門分野研究委員会では、研究部会のあり方やシガネット研究会・その他のイベントの企画、
実施について、共に考え、実行する仲間を募集しています。ご意見のある方、参画希望の方がお
られましたら、ぜひ委員会メンバーまでお知らせ下さい。

厚生委員会2019年活動と2020年の取り組み

鐘井輝(委員長) 稲田忠夫、岩崎弘之、河原進吾、下村裕彦、森部修、島淵裕一
山本邦博、片山 聡、奥田謙一

1 親睦ゴルフ

① 第2回滋賀県中小企業診断士協会会長杯

2019年5月20日(日)、信楽cc杉山コースで実施した。参加者8名、優勝者は森部
修会員。

② 交流会

6月3日(月) 交流会 アヤハレークサイドコース 4名参加

7月1日(月) 交流会 大津東 4名参加

8月9日(金) 交流ゴルフ 甲賀cc 7名参加

③ 第5回大岡杯親睦ゴルフ

衆議院議員(中小企業診断士、当協会相談役) 大岡敏孝氏を囲んで2019年11月17日京
阪カントリー・曾東コースで実施。参加者26名参加。(写真：京阪カントリー)

④ 第2回若狭方面 ゴルフ・船釣り一泊旅行

2019年9月27(木)~9月28日(金)に実施。

8名参加、優勝者山本邦博会員



2 海外視察研修

2020年1月 ベトナム視察研修(ジェトロ、工業団地、人材送出し機関等)

1月16日（木）～20日（日）8名参加。滋賀県長浜市から進出している企業への訪問をして実施しました。



研究部会報告

事業再生支援研究部会 活動報告

リーダー:田中 清行

報告者:森部 修

1.研究部会の目的と活動内容

研究部会の目的は、経営資源が比較的に乏しいため、業績が不芳で苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを診断士が身に付けることです。

活動内容は、当協会が数年前より滋賀県信用保証協会から「経営安定化支援事業」を受託し、本研究会参加の診断士が、対象企業の経営診断や経営改善支援の実践を行っています。資格取得・独立間もない経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断能力を磨きます。そして、経営診断の後、「経営改善計画策定支援事業」へ移行するケースもあります。さらには、経営診断時にアドバイスした事項のフォローアップをするケースもあります。それらの事例を、守秘義務遵守の下、毎月3件発表し、実事例を題材に意見交換して、相互研鑽しています。資格取得や個人活動だけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや知見・能力を磨き上げることができます。

昨今、地域金融機関で与信コストが増加しており、経営改善計画の策定依頼が増加する可能性があります。本研究会は経営改善計画策定の絶好の学習機会になります。

2.令和元年度(4月～12月)の活動状況

毎月1回(第3水曜日夜)、「コラボしが21」3階会議室で研究部会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで30名余の研究部会メンバーが、診断手法を披露し、活発な議論を行っています。3ヶ月に1度、研究部会終了後懇親会を行い、意見を交わし合いチームとしての一体感を醸成しています。



	本年度の経営診断/経営改善計画策定発表事例と発表者
4月	「鍼灸・デイサービス」田内 孝宜、「建築設計」山元 岳司、「和風居酒屋」武田 篤志
5月	「飲食業」下山 拓、「楽器卸小売業」佐々木 武、「福祉・介護用品販売レンタル業」磯野 研
6月	「洋菓子製造販売」三木正博、「農機具販売」西谷弘士、「医療機器販売」田畑一佳
7月	「繊維工業」松島 明男、「建築設計」山元 岳司、「コンビニ」田中 清行
8月	「金属加工」田畑一佳、「飲食業」佐々木一幸、「自動車販売修理」川島康史
9月	「建築金物製造」田畑一佳、「建設」山元 岳司
10月	「調剤薬局」森部 修、「イタリアレストラン」佐々木 武、「縫製業」北村信之
11月	「電子部品製造」田畑一佳、「和菓子製造」三木正博、「整体業」佐々木一幸

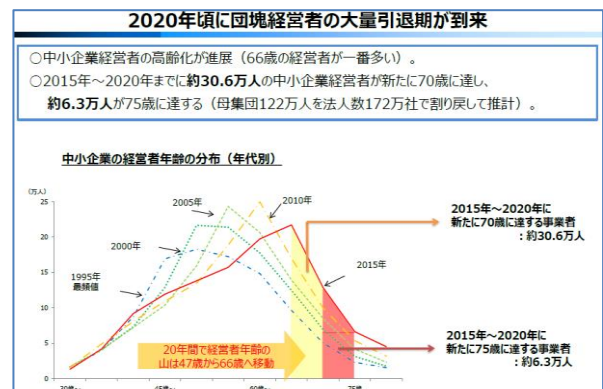
事業承継研究部会 活動報告

松島 明男/中川 学

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「親族内承継」、「親族外承継(従業員等/第三者=M&A)」など事業承継に関連する会社法や民法など各種の法律や、相続税・贈与税など税制の概要の把握 ◆ 親子会談や家族・親族会議の進め方、経営権移譲の進め方、後継者教育、具体的な事業承継計画策定など、人事組織・経営計画・資金計画など事業承継に関する様々な項目について学習・研鑽を重ね、事業承継支援への実践的な能力を培う 		
開催日	原則 第2水曜日 18:00～	開催場所	コラボしが 21 3F 会議室
代表者	松島 明男(サブ:中川 学)	連絡先	vortexmatsushima@zeus.eonet.ne.jp

1. 日本の中小企業の事業承継の現状

中小企業庁の最近の報告によれば、右図のように、経営者の高齢化が進む中、事業承継が上手く進められておらず、多くの会社が廃業に至り、雇用が喪失されています。一方で、後継者の選択や教育、M&A の活用など事業承継を進めるに当って、「相談相手がいない、見つけられない」といった状況も多く見られる中、事業承継への支援が今後益々、必要とされる時代になってきています。



2. 主な活動内容

H28(2016)年3月に開始以来、毎月1回、現在までに45回の研究会を実施してきました。事業承継に関連する法律や相続税・贈与税など税制の知識、具体的な事業承継計画の策定や事例研究など、事業承継支援への実践的な課題解決能力向上を目指して学習・研鑽を重ねています。

□最近の研究会で実施した主な学習テーマ

「相続税や株式評価での借地権の問題」、「食品製造業の事業承継計画策定」、「特例承継計画のポイント」、「種類株式の承継への活用」、「投資育成会社の承継への活用」、「個人版事業承継税制」、「相続法と事業承継」、「企業価値評価とM&A支援」、「取引相場の無い株式の評価」、「事例研究:建設業、製造業」など

3. 各支援機関との連携

事業承継研究部会の活動展開の一環として、当診断士協会は滋賀県事業承継ネットワーク事務局や滋賀県中小企業団体中央会など中小企業支援組織との連携を図り、研究部会活動で培った事業承継支援の実践的な課題解決能力を活かして、会員診断士を専門家として派遣しています。

○事業承継ネットワークの地域ブロックコーディネーター(診断士9名)派遣の取組み状況

「経営者が高齢で事業承継を考えているが思い切って進められない」、「後継者から事業承継の

必要性を経営者に伝えるが理解してくれない」、「経営そのものが不安で承継できない」等、様々な課題を抱えた企業へ商工会、商工会議所や金融機関等の支援機関とともに、先ずは話を聞きに行き、診断士としての経験と研究部会で研鑽した知識を活用し、事業者様の背中を押ししたり足元を支えたりしながら、事業承継計画の策定支援や専門家派遣支援を行っています。

BCP 研究会

BCP 策定支援、研究会主査 玉木幸夫

「非常事態でも事業経営や社会活動を継続するために」平常時から BCP を構築し、中小企業強靱化法に基づく「事業継続力強化計画」に支援の場を広げましょう

1)イ)令和になった2019年も全国で大規模な自然災害が多発し、生活と事業の場を奪いました。

特徴としては、地震災害よりも豪雨、台風15号、19号による河川氾濫、家屋流出、浸水、風害が生活、事業継続に多大な被害を与え、多くの尊い人命をも奪いました。

何時発生するか予測も難しいこれらの自然災害から、個々の生活、事業経営を守り、同時にサプライチェーンへの影響に対応する「防災、減災」に向けて常日頃からの対策、備えへの対応が強く求められています。

ロ)2019年の第198回通常国会に「中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法の一部改正する法律(中小企業強靱化法)」が提出され5月29日成立、7月16日に施行されました。中小企業庁からこの改正法に基づき「防災・減災」に取り組む中小企業が「事業継続力強化計画」を簡易に策定することができるよう支援策が準備されました。

中小企業が防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です

●中小企業庁HPでの認定を受けた企業名公表、企業・団体への計画策定支援策、

●認定企業にご活用いただけるロゴマーク使用、金融・税制優遇等への支援策



2) BCP 研究会の活動

滋賀県中小企業診断士協会としては、上記、国の施策を支援すべく、専門家集団を育成従来からのBCP(事業継続計画)策定支援に加えて、この中小企業の「事業継続力強化計画」認定申請への支援にむけて専門性を高め、国、県・市・商工団体様に貢献する予定でいます。

BCP(入門コース等)は従来と異なるものではなく、簡易に記載できる認定申請書についてもWeb公開されている指針、ガイドライン、手引書など従って支援を進めて参ります。

令和1年度の主なBCP支援活動の実績と、令和2年度支援予定では滋賀県中小企業団体中央会様の事業に沿って行われた公共的ライフライン事業組合団体受託支援実績、今後の継続力強化計画認可申請支援など活動予定は下記の通りです。

- ① 大津市水道瓦斯工事組合様 R1 年度実績
- ② 湖南市管工事組合様 R1 年度実績
- ③ 2地区(長浜、野洲)の組合様 R2 年度支援予定

④ 「事業継続力強化計画」申請等に関わる R2 年以降一連の支援予定 他

BCPは協会事業の重要な支援活動業務です。引き続きご参加ご協力をお願い致します。

国際マーケティング研究会 2019年活動と2020年の取組

稲田忠夫、森部修、河原進吾、田中実、下村裕彦、鐘井輝

1 国際マーケティング研究部会の活動状況

少子高齢化、人口減少、事業承継時の後継者不足、空き家増加、中小企業の廃業等、成熟国家日本の抱える構造的な課題が顕著になっています。リスクはあるがチャンスも広がる海外でのコンサルタント活動の強化、知識の深化、経験値の拡大、交流の進展に向け、国際マーケティングを行っています。

タイ・バンコクへの視察研修2回、中国、マレーシア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、台湾、韓国等の視察・研修においてジェトロでの現地情報収集、政府関係機関、地元企業や金融機関、大学への訪問・意見交換により見聞を広げています。

2 2019年度の活動実績

2019年2月11(月)～2月15(金)当協会会員中心に8名でミャンマーの首都ヤンゴン(ビルマ時代のラングーン)の視察研修旅行を行いました。(写真:ジェトロヤンゴン)



3 2020年の活動予定

ベトナムハノイにおいて、ジェトロハノイ、ドンバン工業団地(政府指定裾野工業団地)、関係企業からの情報収集・交流、日系企業訪問、日本への人材送だし会社(アルシメッコ:ベトナム航空子会社)、観光地調査等を実施します。

視察前には参加メンバー間の情報共有、最終打合せ等を2019年12月に実施、また、帰国後レポートの「診断しが」への投稿、帰国後の報告会を検討中です。



新入会員紹介

氏名 佐藤 一朗

住所 兵庫県西宮市

連絡先 pxm02620@nifty.com

2013年に2次合格、2015年1月に診断士登録をしました。兵庫県協会にも所属しています。化学薬品メーカーの経理部で働く企業内診断士です。一昨年、昨年と滋賀県協会の実務従事に参加したご縁で昨年9月に入会しました。1月現在、滋賀県協会のプロコン・ステップアップ塾を受講しています。企業内診断士では得られないプロコンとしての在り方や経験に裏打ちされた深い知見を親身に教えていただいています。今後も研鑽を積み、企業や地域が抱える課題を解決する手助けが出来るように活動していきます。



氏名:砂 亮介(すな りょうすけ)

中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士・社会福祉士

住所:〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4-1000号

TEL:06-6136-5381

E-mail:suna@kaishi.co.jp

Web-Site : <https://kaishi.co.jp>

事業内容・専門分野等情報:介護福祉業の経営全般、シニアビジネスのマーケティング、シニア人材の活用、女性活躍推進



介護事業所を経営する傍ら、福祉経営コンサルタントとしても活動しています。またソーシャルワーカーとして10年以上の勤務経験があり、多くのシニアと接しているため、シニアビジネスやシニア人材の活用の支援も強みです。最近では、自治体の女性活躍推進に関する公募事業を担当した経験を生かし、女性活躍推進アドバイザーとしても活動しています。

松山中小企業診断士事務所
代表 松山 茂樹(まつやま しげき)
住所: 京都府長岡京市
MAIL: matsuyama5301@pluto.dti.ne.jp
TEL: 090-8932-3898



35年あまり勤めた某装置メーカーを2019年8月末に退職し9月に独立開業したばかりです。30年超を京都市、彦根市、多賀町の工場で過ごし製造のほぼ全業務を経験してきたので、今後はその知見を活かした活動ができればと考えています。仕事柄中小企業経営者と関わる機会は多かったのですが、立場が変わったことを自覚しつつ進歩を遂げたく、皆様方のご指導よりしく願います。

中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ



当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。

当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。

専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。



無料経営相談

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めておられる方など、多くの方に安心して利用いただいています。

特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールであらかじめ、ご相談していただくことも可能です。



会員の皆様へ

当協会のホームページでは、皆さまの専門領域や経歴等のプロフィールを「会員情報」として発信しております。内容をご確認いただき、最新情報の掲載にご協力をお願いいたします。原稿をお送りいただければ、ホームページ掲載の情報を更新いたします。受託事業をご担当されている方は、必ずご掲載いただきますようお願いいたします。

■発行者: 一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

■住所: 〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階

TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371

email: jsmeca25@jade.dti.ne.jp HP: <http://shiga-smeca.net>

■交通: ○京阪電車・石場駅より徒歩3分 ○大津駅からバス「びわ湖ホール」又は「商工会議所前」下車徒歩2分

